

パニックを防ぎ、冷静かつ適

地域住民から不審な郵便物、粉末に関連した相談・受診があった場合、次のことを参考にして対応して下さるようお願いいたします。

① パニックにならないよう説明する

炭疽は人から人へと伝染することはない。
また万一、炭疽菌に曝されてしまった後でも、すぐに発症するというわけではなく、適切な治療を早期に受けることで、発症を防ぎうることを説明してください。

②

不審な郵便物等を受け取ったとの 通報に対して（未開封の場合）

封を開けずにすぐ警察へ！

- 当該封筒又は小包を振ったり、においを嗅いだり、中身を空けないようにし、ビニール袋か他の種類の容器に入れることを指示してください。
- もし容器が手近くない場合、その場にある物で覆い、その覆いをはずさないように指示してください。
- 部屋の扇風機や換気ユニットのスイッチを切るよう指示してください。
- 部屋を離れ、ドアを閉め、その区域に人が立ち入らないように指示してください。
- すぐに手を石鹸と水で洗うことを指示してください。その際、次亜塩素酸系消毒剤（漂白剤）や他の滅菌剤を使用しないように指示してください。
- 直ちに警察に連絡するよう指示してください。
- 現場では、警察や保健所が対応しますので、そちらの指示を受けるよう説明してください。

